tatami.boy　　中　田　雄　梧　　Nakada Yugo



1993年東京都府中市生まれ。家業である中田畳店にて畳職人として勤務。畳の材料を使用した小物づくりや古畳を再活用した空間づくりの領域を様々な分野人との連携のなかで実践中。
イベント出店などを切り口に街の人々と直に話すことで畳の30年後を共に考えることを大切にしている。畳の利用シーンを広げるアイデアを日々模索しており、現在は古畳や古ゴザなど廃棄されていく畳素材の再利用に関心をもって活動している。














11-1
Studio








ISSO
GROWN IN JAPAN




橋の上の
弘明寺市場








LOFT
GARAGE
KITCHEN


西荻の
カフェ
open
WORKSHOP




畳


THE GARDEN
AWESOME
DJイベント開催！
クラフトビール
ワークショップ
レトロ雑貨
レコード
フード
カフェ
古着
OMIYA
DAIMON
MARKET
10.28 sat 11:00-17:00
大宮門街ビル内 門街広場




TAKE OUT
EAT IN





畳縁くるみボタンのヘアゴム

販売価格（仮）：300～400円

現在、千種類以上流通しているといわれている畳縁。一般消費者にはあまり知られていない、鮮やかな畳縁の世界を数百種類をディスプレイし、多くの人々に伝えたい。和柄に込められた意味に思いを馳せ、祈り、日常に希望を見出す。ヘアゴムの造りではあるが、使用者のアイデア次第で様々な用途に転用できる。御朱印帳や手帳を留める、ペン類をまとめペンケースに、スカーフの結び目に隠しに。金具を付け替え、ブローチやバッジ、帯留めに。使用者のアイデアを聞き集めながら、用途を縛らず成長していくプロダクトとして展開していくtatami.boyの主力商品。



畳ブックカバー（文庫本サイズ）

販売価格（仮）：3500円

余った畳表と別分野の素材を合わせて作った文庫本サイズのブックカバー。写真ではカラーバリエーション豊かな子羊の皮革と合わせて製作。手馴染みの良い素材感と質量感と見た目が普段の読書体験をより特別な時間に変える。
いぐさの効能である消臭・吸湿効果がカバンの中の空間ケアにも寄与するプロダクト。畳縁くるみボタンでまとめるコンビネーションを楽しむアレンジが楽しい。よく親しまれている文庫本サイズなので本以外にも手帳カバーなどのとしての用途にも転用できるかもしれない。



畳ミニカードケース

販売価格（仮）：3000円前後

畳ブックカバー同様、畳表と別素材を合わせて製作したプロダクト。写真ではキャンバス地（帆布生地）を合わせている。身分証、クレジットカード、交通系ICカードなど２～３枚のカードを収納し持ち運ぶことに適している。
tatami.boy自身が普段の業務中に最低限のカード類を持ち運ぶのに使うミニウォレットを想定して製作した。口金のサイズを変えることで、より幅広い用途に使える畳素材のケースとしての可能性を秘めている。



いぐさレジンアクセアサリー

販売価格（仮）：3500円

畳表の切れ端をチップ状に裁断しレジン硬化させチャーム化したアクセサリー類。現在ピアス・イヤリング、ネックレスなどの展開がある。中のいぐさは日光により飴色に変わっていく、経年変化を楽しめる。いぐさに含まれる空気が効果の過程で気泡となりアクセントになるのと同時に、いぐさの空気を調整する役割を視覚化することで畳の魅力に触れてもらうプロダクトに仕上がった。



ポータブルゴザ

販売価格（仮）：2000～3000円

表替え作業で廃棄される古い畳表（古ゴザ）をアップサイクルしアウトドアシーンで活用するという試みから生まれたプロダクト。比較的綺麗な古ゴザを選別し、縦半分に裁断。畳一畳分の長さ（約170cm）がありながら、丸めると約40cmの筒状になり肩掛け、手持ちなど人の移動の妨げにならないコンパクトサイズになる。サイクリングや野点、ピクニック、花見、海水浴などでの利用を想定しており、イベント方面では野外音楽イベントでイベントロゴをレーザー刻印し、ノベルティ化した活用実績もある。

ゴザ部分は畳縁をつけない作りで地域の畳屋での消耗交換を前提としている。また木製棒とストラップが一体となった付属の持ち運び器具も破損しても修理・再現が容易でシンプルな作りとなっている。このプロダクトの高い再現性は畳屋と街の人がつながる架け橋として古ゴザが循環していく社会を目指した結果と言える。昔の日本社会で古ゴザが農家の農作業や行楽に再利用されていたように現代日本に合った形で畳にまつわる新しい文化形成の可能性を秘めている。